

オキドキニュース 八月号



二十四節季

立秋（りっしゅう） 八月七日 秋が始まる。
処暑（しよしよ） 八月二十三日 暑さが終わる。

おやつ喫茶

七月七日（土曜日）食堂に於いて入所のご利用者様を対象に「おやつ喫茶」を催しました。今回の行事では「七夕」にちなんで夜空をイメージしたゼリーと普段は飲まない炭酸飲料などの飲み物を提供しました。ふだん食堂で召し上がる「おやつ」とは違い、職員もウエイターの衣装に着替え、多少なりとも喫茶店の雰囲気も味わってもらうことができました。楽しい催しとなりました。



八月から所得のある方は三割負担に

二〇一八年八月から一部利用者（二割）の介護保険のサービス利用料の自己負担割合が、一割から三割に変更されます。介護保険が始まった当初は、収入にかかわらず、全員が一割負担でした。二〇一五年八月の改正で、夫婦世帯で三四六万円以上（単身世帯で二八〇万円以上）収入がある人を対象に二割に引き上げられ、今改正では、三割負担の対象になるのは、現役世代並みの所得者に対して、引き上げが行われる形となります。しかし、自己負担割合が三割に引き上げられても、負担する金額が単純に増えるわけではありません。介護保険の利用料の合計が一定金額を超えたとき、超えた分のお金が戻ってくる「高額介護サービス費」という制度があります。

高額介護サービス費

住民税課税世帯や現役並みの所得者がいる世帯は四四四〇〇円/月。これらを超えた金額は、申請することで後日払い戻しを受けられます。詳しくは、お住まいに区市町村にお問い合わせ下さい。

ご当地グルメ（福井県）

越前おろしそば

「越前おろしそば」は、おろした大根をあらかじめどろり入れた独特のつゆと、色が黒くコシのしっかりとした麺が特徴。麺の香ばしい甘みと大根おろしの辛みがありなす織り成す絶妙な味わい。

越前そばの命名は、その後「あつちそば」と口にされたこと、越前そばの呼称が一般に使われ出したのは、昭和二十二年に昭和天皇が北陸を視察された際、「越前の蕎麦」としてお気に召され、その後も折に触れて「越前の蕎麦」の話をしたこと由来しているそうです。

平成30年8月2日(木)
昼食にご提供!



写真はあくまでイメージです。
提供するものとは異なりますので

お盆の「胡瓜の馬」「茄子の牛」は、

なぜ「きゅうり」と「なす」なの？



お盆に「きゅうり」と「なす」で作った精霊馬の意味は、「きゅうり」は足の速い馬として見立てられ、あつちから早く家に戻って来れるように。「なす」は歩くのが遅い牛として見立てられ、少しでもこの世から帰るのを遅らせるようにとされています。また、お盆にご先祖様を供養するお供物などを持ち帰ってもらう為に牛にしたとも言われています。地域によっては、行きも帰りも「きゅうり」の馬に乗り、「なす」の牛にはお供物などの荷物を載せて運ぶとも言われています。

なぜ、「きゅうり」や「なす」なのか、その理由ははっきりしません。おそらく夏の時期に多く採れる野菜のため手に入りやすく、またどこでも収穫できる野菜であったことから、広く全国的に「きゅうり」や「なす」が使われているものと考えられています。



夏祭りのお知らせ

日時 八月十八日（土曜日）
午後六時から

場所 当施設駐車場にて
（雨の場合は施設内にて）

内容 和太鼓、五日市舞踊会の皆様による盆踊りなどを予定しております。

ご利用者のご家族様、地域の皆様のご来設をお待ちしております。尚、駐車場は「ございますが、台数に限りがありますので、乗り合わせのご来設をお願い致します。



【床清掃のお知らせ】

左記日時にて、施設内の床清掃、ワックス掛けを予定しております。それに伴い居室への立入が出来ない時間帯がございます。ご迷惑をおかけ致しますが、皆様の「ご理解、ご協力をお願い致します。」

日時 八月五日（日曜日）
作業時間 午前九時～午後三時



夏の栄養補給には「甘酒」がおすすめ

甘酒といえば、寒いときに飲むとホカホカして体を温めてくれる冬に飲むイメージですが、実は江戸時代には夏に飲まれていました。当時の人たちは、暑い夏を乗り切るために「滋養強壮ドリンク」として甘酒を飲んでいました。それはブドウ糖やアミノ酸、ビタミン類など豊富な栄養素が含まれているからで、甘酒に含まれるブドウ糖は点滴と同じ成分です。甘酒は、エネルギーに転化されやすく、現代でも「飲む点滴」と言われ、夏バテ防止「疲労回復」「美肌効果」があるそうです。また、最近では甘酒と豆乳を混ぜたドリンクが、美容と健康に良いといつとブームになっています。